

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	little nico			
○保護者評価実施期間	2025年8月1日		～	2025年8月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	2025年8月1日		～	2025年8月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月26日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員、保育士、中学高等学校教諭、幼稚園教諭免許を取得しているスタッフが在籍しています。毎日様々な活動(レクレーション、歌、習字、SST、調理実習、戸外活動)を行っています。	子どもたちが毎日楽しく通えるように毎月カレンダーを配布しています。 活動内容については、子どもたちのリクエストを採用したり、スタッフ間で話し合いをしてアイデアを出しています。	活動がマンネリ化しないために、スタッフ間で意見を出し合います。子どもたちに経験してほしいことに重きを置いて考えます。
2	定期的な保護者との顔を合わせた個人面談の時間を設けています。普段の家での様子やデイでの様子を共有するだけでなく、保護者の悩みや相談にも対応しています。	連絡帳でその日の活動内容を伝えています。その日の様子を伝えたり、個別のLINEで帰宅してからの様子を聞き取っています。	送迎時に情報共有を行うだけでなく、保護者の表情や仕草からも変化に気づけるように対応したいです。
3	保護者のニーズや課題が客観的に分析された個別支援計画書が作成されています。	個別面談の際に、保護者の方から聞き取りを行い、課題を明確にしています。スタッフ全体で日々子どもの様子を共有し、様々な角度から必要な支援や支援の方向性を検討しています。	スタッフ間で情報共有を行うだけでなく、学校や保育園とも連携を取り、情報共有を行いよりよい支援に繋げていきたいです。 またスタッフ全体で視点について共通理解ができるよう支援会議を引き続き行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が行えておらず、地域との関係が薄いです。	地域のイベントを把握できていないです。その為地域交流場に参加できていないです。	積極的に地域交流の場に参加し、近隣の施設や地域の方とコミュニケーションをとり、関係を深めていきたいです。
2	保護者会や保護者参加型の交流の機会が少なく、またきょうだい向けのイベントも行えていません。	年1回の保護者交流会を実施しているが、保護者の参加人数が少ないです。きょうだい向けのイベントも行えていないのが現状です。	保護者交流会やきょうだい向けのイベントも行い、保護者支援だけでなく、きょうだいへの支援も行っていきたいです。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 little nico

公表日 2025年 9月 26日

利用児童数 8人

回収数 5人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		little nico		公表日		2025年 9月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用人数が十分に活動に取り組める空間になっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		現状は対応しているが、子どもの状態により更に職員が必要と感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		扉の鍵が子どもの手に届く位置にあり、実際に触ってしまう子もいる。 子どもの手に届かない位置に変更できるかどうか検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	掃除を行うことができている、死角がないように配慮されている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	落ち着いて過ごすことのできる個室スペースがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	会議や振り返りの場で職員が意見を出し合い、改善点や目標の共有をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	保護者向けの評価表を実施し、意見を集約している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員会議を通して、意見や要望を把握している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部機関による定期評価を受け、会議などの場で共有している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修や社内研修を定期的に実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		プログラムは作成されているが、公表方法や共有が十分ではない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	保護者との面談や観察結果をもとに課題やニーズの分析をしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	関わる職員で情報共有をして支援内容を決定している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	作成した計画は職員間で共有し、日々の支援に反映している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	観察記録を用いて、こどもの適応行動の状態を把握している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインの各項目を踏まえて、子どもに必要な支援項目を適切に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	職員間でアイデアを共有し、子どもたちが楽しんで、楽しく通ってもらえるように活動プログラムを考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	季節に合わせた活動を取り入れている。 職員間でアイデアを出し合っている。楽しく通ってもらえるように新たなアイデアも取り入れるようにしている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	主に集団活動を中心に行っているが、自由遊びや戸外・室内を選択できる場合もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	個別対応をする子どもと職員を事前に伝えているので、見通しが持てる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後には、一日の振り返りを行う時間が作れている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	情報共有をし、計画に沿った支援を継続できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	子どもの状態や支援の成果をモニタリングし、達成度を確認している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議の機会が少ないが、行われた時には、子どもの状況をよく理解した職員が参画できるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	子どもに関わる機関と連携し、情報共有や調整を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	情報共有や相互理解を図り、支援の連携ができる体制を整えている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		情報共有できていない。就学時に情報共有できるよう事前に準備をする。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		地域の児童発達支援センターとの連携が取れていない。スーパーバイズや助言を受ける機会を設ける。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		地域との交流の場が少ない。交流できる場に出向くようにする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日常的に保護者と子どもの状況を共有し、共通理解を持ちながら支援を進めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	子どもの普段の様子を見ていただけるように参観をできる日を設けている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	利用開始時や必要に応じて、保護者や利用者への説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	子どもの最善の利益を考慮し、本人や家族を尊重した計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者からの相談に対して、適切に応じ家庭との連携した支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		保護者会やきょうだい同士で交流するイベントを設けることができていない。交流する場を設ける。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	迅速かつ、適切に対応し、必要に応じて記録に残している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	HPやSNSを活用している。保護者が安心して利用できる環境を整えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	適切な管理方法を徹底し、職員間で取り扱いのルールを共有している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	視覚的支援など個々に適した方法を用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		事業所の行事に地域住民を招待することができていない。地域との関わりを増やしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		マニュアルはあるが、訓練の実施や周知の徹底が十分ではない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		職員が災害時に確実に対応できるよう体制の強化が必要。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1		確認は行っているが、情報の漏れや共有不足がある。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		職員間の情報共有や管理方法が十分でない場合がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	研修を行っている。	訓練ができていないので、実施する必要がある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	家族と連携を図り、情報共有や対応の確認を行うことで安全な支援環境を維持している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事業所内で共有し、原因や状況を分析した上で再発防止を検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修の機会を確保している。研修報告書をまとめ、虐待防止に努めている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		個別支援計画書に記載していない。記載する必要がある。	